

2024年度事業計画

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

1. 第31回地域保健福祉研究助成

第18回シニアボランティア活動助成

第33回ビジネスパーソンボランティア活動助成

(定款第4条第1号並びに第2号に該当)

【受贈者の決定と贈呈式の開催】

公募申込の中から選考委員会で選定のうえ、理事会にて受贈者・助成金額を決定し、贈呈式を開催する。

(日 程)

- ・公募期間 4月 1日 (月) ～ 5月25日 (土) [当日消印有効]
- ・選考委員会の開催 7月22日 (月)
- ・理事会の開催 選考決定
- ・贈呈式の開催 9月 6日 (金) 近畿地区贈呈式
9月24日 (火) 関東地区贈呈式
9～10月 近畿・関東地区以外は原則として
各道県にて開催

※贈呈式終了後、受贈者同士の交流や研究、ボランティア活動をする上でのお困りごとの相談の機会を提供

→贈呈式以降も、受贈者同士が交流できる場をウェブ上に設ける。
既存のコミュニティサイトを利用 (クオン社「絆のコミュニティ」)
コミュニティ名称: 「地域を良くするコミュニティ」
年間利用料 90万円 (4月以降開設予定)

(選考委員) (五十音順) (敬称略)

- | | |
|---------|------------------------|
| 川 崎 良 | (大阪大学大学院医学系研究科 教授) |
| 河 野 公 一 | (大阪医科薬科大学 名誉教授) |
| 筒 井 のり子 | (龍谷大学社会学部 教授) |
| 早 瀬 昇 | (社会福祉法人大阪ボランティア協会 理事長) |
| 福 島 若 葉 | (大阪公立大学大学院医学研究科 教授) |
| 藤 井 博 志 | (関西学院大学人間福祉学部 教授) |

【事業内容】

(1) 地域保健福祉研究助成

①応募資格

- ・保健所、地方衛生研究所等衛生関係機関に所属する職員
- ・都道府県市町村の衛生および福祉関係職員
- ・保健・医療・福祉の実務従事者

大学病院の職員等は応募対象者に含む。(ただし、大学の教職員、大学院生の研究は除く。)

*ただし、前年度に当財団の助成を受けた人は除く。

②研究課題

- ・地域保健および地域福祉に関する研究
- ・在宅・施設の医療、福祉および介護に関する研究
- ・その他住民の健康増進に役立つ研究

③助成金額（総額 原則1,000万円以内）

1件 原則30万円

特に優秀な研究については50万円限度で助成

(2) シニアボランティア活動助成

①応募資格

社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするシニア(年齢満60歳以上)が80%以上のグループ。

*ただし、過去3年以内に当財団の助成を受けたグループは除く。

②対象となる活動

- ・高齢者福祉に関するボランティア活動
- ・障がい者福祉に関するボランティア活動
- ・こどもの健全な心を育てるための交流ボランティア活動

③助成金額（総額 ビジネスパーソンボランティア活動助成と合わせて

原則1,200万円以内）

1件 原則10万円

特に内容が優れている場合は20万円限度で助成

(3) ビジネスパーソンボランティア活動助成

①応募資格

社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするビジネスパーソン（会社員、団体職員、公務員、経営者・個人事業主）が80%以上のグループ。

*ただし、過去3年以内に当財団の助成を受けたグループは除く。

②対象となる活動

シニアボランティア活動助成と同じ

③助成金額（総額 シニアボランティア活動助成と合わせて原則1,200万円以内）

シニアボランティア活動助成と同じ

(4) 2023年度研究・活動報告

2023年度「地域保健福祉研究助成」、「シニアボランティア活動助成」および「ビジネスパーソンボランティア活動助成」受贈者の研究・活動報告を確認し、「研究報告」は財団ホームページに掲載する。

2. 健康小冊子の発行

(定款第4条第4号に該当)

健康小冊子【No.77】の執筆を依頼し、2025年度に発行する。

タイトル：メンタルヘルス（特に、職域でのメンタルヘルス）

著者：喜多村 祐里 氏（大阪市こころの健康センター 所長）

3. 福祉事業への助成

(定款第4条第5号に該当)

以下の福祉事業に対し助成する。

- ・ 社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団の社会福祉事業（20万円）

「発達障害」とともに生きる 豊かな地域生活応援助成

発達障害に由来する困りごとに寄り添い、支援する活動や、その人の得意なところを伸ばすための活動を助成

以上